

いちかわ 市議会だより

市川市議会は年4回、2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。
(開会予定日は6面に掲載しています)
市議会だよりは原則として定例会が終了した月の翌々月の第2土曜日と1月1日に発行(新聞折り込み)しています。

2010年(平成22年)第191号

8月14日(土)

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡 1-1-1 ☎334-1111
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html>

6月定例会

市政戦略会議条例を制定

市長提出議案13件を可決

市議会は、平成22年6月定例会を6月4日から21日まで開催し、第62代議長に笹浪保氏、第54代副議長に荒木詩郎氏を選出しました。
また、市長からは市川市市政戦略会議条例の制定についてなどの議案13件と、報告10件が提出され、議員からは、子宮頸がん予防ワクチンを定期接種にするよう求める意見書の提出についてなどの発議14件が提出されました。

その他、請願・陳情の審議や、29人の議員による一般質問などを行いました。
この他、行徳臨海部特別委員会委員の互選により松井努議員が委員長に選任され、また、議会運営委員会では田中幸太郎議員の委員辞任に伴い、議長が金子正議員を新たな委員に選任した旨の報告がなされました。(一般質問は2面・5面、審議結果一覧は6面に掲載)



議長選で投票をする議員

議長に
笹浪 保氏

副議長に
荒木 詩郎氏

議員の表彰

全国市議会議長会

在職20年表彰 鈴木 啓一

在職15年表彰 金子 貞作

荒木詩郎氏は、平成15年市議会議員に初当選し、以来連続2回当選。これまで総務委員会委員長などの他、各種審議会等委員を歴任(塩焼2丁目在住、62歳)。
笹浪保氏は、平成3年市議会議員に初当選し、以来連続5回当選。これまで副議長、環境文教委員会委員長、監査委員、行徳臨海部特別委員会委員長などの他、各種審議会等委員を歴任(塩焼2丁目在住、62歳)。

議案

○市川市市政戦略会議条例の制定について

本市の重要施策に関する事項及び行財政改革の推進に関する事項について、市長の諮問に応じ調査審議し及び建議すると共に、市長の求めに応じ意見を述べる機関として、学識経験者や公募された市民等によって構成する市川市市政戦略会議の設置について定めるものです。

○市川市税条例の一部改正について

地方税法等の改正に伴い、年少扶養控除廃止により個人市民税の非課税限度額の判定基準額の算定に必要な年少者の扶養者数を把握できなくなるため、扶養親族申告書の提出について定めると共に、市たばこ税の税率を引き上げる等の改正を行うものです。

○市川市放課後保育クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について

今後見込まれる放課後保育クラブの入所希望者の増加に対応するため、鬼高小学校放課後保育クラブの定員を130人から210人に増員するものです。

○都市計画道路3・4・18号(仮称)B1・B2橋(下部工その3)工事請負変更契約について

北方2丁目37番・本北方1丁目1番地先の同工事につき、請負者との間に工事請負変更仮契約を締結したため、「市川市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」により、議会の議決を求めるものです。

○市川都市計画道路3・4・18号浦安鎌ヶ谷線と京成本線(京成八幡・鬼越駅間)の立体交差事業 京成本線直下横断部築造工事施行協定について

京成本線の軌道下を横断する八幡1丁目6番・八幡5丁目8番地先の同工事につき、京成電鉄株式会社との間に工事施行協定を締結するにあたり、「市川市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」により、議会の議決を求めるものです。

○指定管理者の指定について

市川市南八幡ワークスを管理する指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるものです。

報告

継続費の通次繰越し、繰越明許費の繰越し、専決処分の承認3件の他、市川市土地開発公社、財団法人市川市清掃公社、財団法人市川市文化振興財団、財団法人市川市福祉公社の平成21年度決算及び22年度事業計画について報告されました。

審議結果

本会議での採決の結果、市長提出議案13件を原案通り可決しました。また、議員提出の意見書案10件を可決、4件を否決しました。この他、請願3件、陳情4件を採択、陳情4件を不採択としました。

一 般 質 問

6月定例会では、29人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分。ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

<会派の略称>

民主・市民＝民主・市民連合 みらい＝みらい・つばさ
社民・市民＝社民・市民ネット

※一般質問後に会派及び議員名の表記に変更がありましたが、ここでは質問時の会派及び議員名の表記で掲載しています。



公益財団法人移行を目指す文化振興財団が管理する文化会館

行 財 政

平和学習青少年長崎派遣事業

勝亦竜大議員（社民・市民）

平成22年8月、市内中学生16名が平和学習青少年長崎派遣団として長崎市主催の平和事業に参加する。毎

**参加者の体験をどう継承するのか
IT活用を含む施策の可能性を検討**

年の派遣は困難な状況の中で、今回参加した中学生が持ち帰る様々な体験や思いをどのように継承、共有していくかが課題と考える。IT技術の活用を含めた市の継承策を問う。

財政における事業仕分け

田中幸太郎議員（みらい）

平成22年度予算においては約60億円の財政不足が生じ、赤字地方債などによって収支の均衡が図られた。

**行政と議会の在り方も仕分けが必要
議会において議論していただきたい**

コスト削減策の一つとして「事業仕分け」を行うことであるが、予算削減の観点から、行政と議会の在り方について市民目線で見直していく「仕分け」も必要と考えるが、いかがか。

公益法人制度改革

岩井清郎議員（みらい）

公益法人制度改革関連3法が施行された。市川市福祉公社は一般財団法人への移行に向け準備を進めている。

**新制度移行に向けた市の対応は
適合チェック等の準備を進めている**

福祉公社については、社会福祉法人への移行は困難との県の回答があったことから、平成23年度中の一般財団法人移行を目指し準備を進めている。文化振興財団は23年度中、清掃公社の基金は24年度中を目標に、公益財団法人移行への公益認定基準の適合チェック等の準備を進めている。

自主財源の確保

金子貞作議員（日本共産党）

固定資産税額が上がっているのに比べ、本市の道路占用料は平成12年の条例改正以来、料金の引き上げが

**道路占用料等応分の負担求めるべき
検証行い見直しを進めていく**

ない。近隣市並みに引き上げれば、かなりの税収増が考えられる。財政健全化のためにも、企業に理解を得て、応分の負担を求めるべきである。道路占用料等の自主財源確保の考えを問う。

下 水 道

市川駅南地域の浸水対策

二瓶忠良議員（日本共産党）

市川駅南地域では今でも大雨による道路冠水や住宅への被害が生じている。また、東京外郭環状道路は平

**外環道路工事に伴う雨水排水計画は
ポンプ場2カ所を新設して対応**

地下方式で工事が進められているが、このため雨水の排水路が東西に分断されることになる。分断を考慮した排水計画について問う。

こ ど も

保育園待機児童の解消

大川正博議員（公明党）

本市における保育園の待機児童数は平成22年5月時点で467名と、1月より212名減少したが、まだ

**平成23年度の待機児童解消策は
様々な施策を総合的に推進する**

まだ多いのが現状である。23年度の待機児童解消策について問う。また、児童扶養手当を受給対象外であった父子家庭に拡大する改正法が成立したが、その周知を図っていく。

子ども手当

松永修日議員（緑風会）

本市における子ども手当の対象者数、所要経費、未申請者への啓発、障害児等への配慮について問う。

**税制面への影響をどう考える
今後の制度設計の見直しを注視**

また、本制度創設に関連し、税制面における制度改革や行政運営上に生じる影響等をどう考えているのか。

国・県の窓口

**市内に誘致 努力すべきでは
十分な調査・準備必要 検討進める**

坂下しげき議員（市民の声）
本市には近隣市に比べて、市民が多く利用する国・県の窓口がない。市民ニーズの少ないIT事業に予算を

使うより、市民ニーズの高い国・県の窓口を市内に誘致し、市民の利便性向上のため努力すべきではないか。また、旅券事務所は、県において権限移譲の研究を行っており、今後の動向を見て対応していきたい。

も窓口が設置できると聞くが、どう対応していくのか。

答 国・県の窓口の設置は、市民ニーズ、場所、国・県との調整など、十分な調査・準備が必要であり、検討を進めていく。

また、旅券事務所は、県において権限移譲の研究を行っており、今後の動向を見て対応していきたい。

「ゆめ半島千葉国体」で本市が会場となるハンドボール競技



市役所本庁舎前の駐車場出入口



道 路

東京外郭環状道路用地交渉

市役所本庁舎前の道路

鈴木啓一議員(市民の声)
東京外郭環状道路建設は、供用開始を目指し工事が進んでいる。しかし、一方でいまだに未買収地がある。こ

地権者に説明不足等 誠実な対応を理解得られる丁寧な対応国等に要望

れは単に地権者が反対しているのではなく、説明不足など国の対応に原因がある。地権者は再三に渡って国との話し合いを要請したが、うちが明かない。土地収用法

加藤武史議員(自由クラブ)
市役所本庁舎前、国道14号における交通事故が、平成19年9月から数件発生している。解決策として、駐車

横断する市民の安全確保を押しボタン式信号機と横断歩道設置

場出入口と並ぶ歩道レーン等を左折車専用出口に整備して右左折2車線にし、隣接する千葉コピーセンター脇に歩道を移設すれば、市民の安全が確保できる。以

小学校避難拠点運営委員会の設立

障がい者の避難支援訓練

堀越 優議員(公明党)
市民が安全で安心して暮らせる街づくりを実現するためには、防犯・防災対策の推進や大地震の教訓を生

市民との取り組みが重要 進捗状況はコミュニティサポート委員会等で説明

かした市民との取り組みが重要な課題となってくる。防災対策として現在進められている、小学校避難拠点体制整備の進捗状況を問う。

宮本 均議員(公明党)
障がい者などの災害時に支援を必要とする災害時要援護者に対しては、避難支援訓練は重要であると考え

今後どう取り組んでいくのか 防災訓練に取り入れるよう提案

る。市として、今後の取り組みについて、どう進めていくのか。答 市では、平成21年度から小学校避難拠点の体制整備を進めている。今後立ち

自 然 ・ 環 境

文化・スポーツ

ごみゼロ宣言

真間川左岸沿いの遊歩道

千葉国体 ハンドボール競技

北下遺跡

かいづ 勉議員(道)
年間のごみ処理費用は約62億6千万円で、市民一人当たり約1万3千円の負担となっており、ペットボト

次期環境基本計画に反映していく 環境市民会議の提案受けどう対応

ルの処理費用は年間約4億9千万円も支出している。環境市民会議の提案を受け、特に、マイバッグ、マイボトル等を推奨し、「ごみゼロ宣言」すべきではないか。

桜井雅人議員(日本共産党)
真間川左岸沿いの遊歩道の敷石にがたつきが目立つ。遊歩道整備についての市の考えを問う。また、ベビ

がたつきのある敷石 どう対応 不良箇所の敷石を除去し補修

カーの親子連れやシルバーの高齢者は敷石の遊歩道を歩くのが困難なため、車道の端の路側帯を歩いているが、道幅が狭く危ない。歩行者の安全対策は考えら

湯浅止子議員(社民・市民)
平成22年9月開催の千葉国体において、本市はハンドボール競技会場となる。ハンドボール競技への関心

子供達が試合観戦するための費用は 学校から会場までのバス輸送を計画

を高めるため、小中学生による手づくりの歓迎のほり旗を作成すると聞く。作成の費用負担と旗の活用方法を問う。また、子供達が試合観戦するための交通手段

清水みな子議員(日本共産党)
国の文化審議会が下総国分寺跡北下(つけたりきたした)瓦窯跡を国の史跡に追加指定するよう、文部

検討委員会が必要ではないのか 県が立ち上げるので検討したい

科学大臣に答申をした。北下遺跡の価値と重要性について問う。また、遺跡の保存方法や市民への公開等について、専門的な意見や知識を集めた検討委員会の立

ち上げが必要ではないか。答 北下遺跡の窯跡は下総国分寺を考える上でも、重要で価値が高いものである。本市は追加指定地の所有者ではないが、市内にある遺跡なので、市に一定の権限や責任が生じると考える。県が保存管理計画の段階で委員会を立ち上げるので、本市でも検討したい。

平成22年度実施予定の子宮頸がん検診無料クーポン券



タブの木に植え替えられた市川駅南口再開発ビル周辺



まちづくり

東京外郭環状道路

増田三郎議員(自由クラブ)
東京外郭環状道路と国道298号線の整備に伴い、大洲、大和田、稻荷木、平田、須和田等の地域の住民

住民の生活環境を変えない道路に地域の要望をしつかり伝えていく

にとつては移動経路が不便になる、地域が分断されるなど、生活環境が大きく変わる。生活環境を変えずに良い道路、良い街をつくる、欲しいというのが地域の思いである。考え方を問う。

セットバック部分の寄附

松葉雅浩議員(公明党)
建築基準法により、幅4mに満たない道路に接して建築する場合、道路の中心線から2m後退して建築す

費用を市が負担する制度の創設を他市等調査し前向きに検討進める

る必要がある。このセットバックした部分を市に寄附したいと思っても、分筆や登記等の費用は、寄附を行う人が負担しなければならぬ。費用を市が負担する

市北東部のまちづくり

中山幸紀議員(自由クラブ)
県立市川北高校跡地は、特別支援学校として校舎の利用が決まった。グラウンド等の利用には住民の強い

市川北高跡地 運動施設の市民開放を地域活動の場として県に求めている

要望がある。運動施設を市民に開放する要望書を県に出したとのことだが、具体的内容は何か。また、大柏出張所の移転は厳しい財政状況からみても再検討せざるを得ない。大野公民館はより使いやすくなるようスロープの改善を検討したい。

J R市川塩浜駅周辺の市所有地

雇用が図られるような有効活用を市民に一番良い活用方法を考える

寒川一郎議員(みらい)
J R市川塩浜駅周辺は民間の活発な土地活用が行われるような有効な土地活用を期待しているが、どのような開発をしていくのか。

答 市所有地についてはにぎわいのエリアとしてふさわしい施設にしたい。順調に進んだ場合、平成23年度に土地区画整理事業認可申請等の手続き、25年度に建築工事に着手できればと考えている。社会動向等も見極め、市民に一番良い土地の活用方法を考えていきたい。

保 健

新型インフルエンザワクチン

守屋貴子議員(民主・市民)
子宮頸がんワクチン予防接種への公費助成が各自治体で進んでいる。本市ではどう認識しているのか。

自己負担分を市で助成できないか今後の状況見て検討していきたい

また、新型インフルエンザのワクチン接種については、法定接種とならなかった場合、自己負担分を市として助成できないか。

女性のがん検診

小林妙子議員(公明党)
既に多くの自治体では平成22年度も女性のがん検診に対する無料クーポンを実施している。また、子宮頸

無料クーポン実施の考えは平成22年度も実施していく

がん予防ワクチン接種についても、公費助成を表明する自治体が全国に広がっている。無料クーポンの22年度実施と子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成に

市川駅南口再開発事業A街区

宮田かつみ議員(市民の声)
市川駅南口再開発事業A街区はビル風が強く、図書館利用者や買い物客が風を避けるため、J R市川駅方

風害や空き店舗 集客対策講ずるべき活性化に向け買い物動向調査検討

向に流れ込み、再開発ビル内の店舗に集客できない。この風害をどう考えるのか。また、空き店舗も目立ち、周辺商店街を含めた地域の活性化にならない。買い物動向調査についても、必

市川駅南口再開発ビル周辺のビル風対策

プリティ長嶋議員(市民の声)
市川駅南口再開発ビル周辺のビル風対策として植栽されたクスノキが伐採され

タブの木に植え替える理由は元氣良く育ち風対策の効果に期待

のような対策を講ずるのか。答 生育状態の悪いクスノキを同じ条件下で元氣良く育てているタブの木に植え替えることにより、風対策として効果が期待できると考えている。また、強風に対しても倒木しないよう対策をし、今後市民に心配をかけないように、最大限の努力をしていきたい。

総務委員会

【日程】
平成22年5月17日～19日
【視察地及び項目】
高知県 高知県方式汎用機システム
再構築事業
高松市 商店街活性化促進事業
香川県 東山魁夷せとうち美術館

【主な視察内容】
高知県では現有資産を活用して独自の移行方法による再構築を可能とした高知県方式汎用機システム再構築事業を、高松市では低迷する地域商店街の活性化の成功例として評価が高い商



高 松 市

店街活性化促進事業を、また、様々なテーマで所蔵作品の展示と共に、他の美術館との多様な交流を推進する、香川県立東山魁夷せとうち美術館の運営状況を視察した。

健康福祉委員会

【日程】
平成22年5月10日～12日
【視察地及び項目】
函館市 福祉のまちづくり条例
伊達市 障害者支援施策
札幌市 ワーク・ライフ・バランス

【主な視察内容】
函館市では市民が共有すべき福祉の理念やそれぞれが果たすべき責務などを掲げると共に、公共的施設の整備の基準を定めている福祉のまちづくり条例について、伊達市では障害者が地



函 館 市

域で暮らしていくために必要な支援を行っている障害者支援施策を、札幌市では仕事と生活の調和を目指すワーク・ライフ・バランスの取り組みを視察した。

常任委員会の視察

環境文教委員会

【日程】
平成22年5月13日～14日
【視察地及び項目】
姫路市 小中一貫教育制度
神戸市 ピン・缶・ペットボトルの
資源リサイクル事業
こうべ環境未来館

【主な視察内容】
姫路市では小中一貫教育制度の導入について、独自のプログラムを策定し、地域の実情に配慮しながら児童生徒の心身の発達に応じた学習指導の充実を目指す取り組みを、神戸市では資源



姫 路 市

化リサイクル事業やリサイクル施設における知的障害者の雇用の場としての活用状況を、また、隣接するこうべ環境未来館での環境に関する啓発活動について視察した。

建設委員会

【日程】
平成22年5月10日～12日
【視察地及び項目】
福岡市 博多駅再整備事業
大野城市 コミュニティバス
熊本市 魅力ある熊本駅周辺のまちづくり事業

【主な視察内容】
福岡市では魅力ある駅前広場の形成と歩行者ネットワークの充実・強化等を図る博多駅再整備事業を、大野城市では平成15年から運行を開始し、市内を4ルートで運行するコミュニ



大 野 城 市

ティバスについて、熊本市では出会いと触れ合いの副都心を将来像に、九州新幹線建設事業、熊本駅周辺の都市計画道路網の整備等を行う熊本駅周辺のまちづくり事業を視察した。

福 祉

ひきこもり対策

市の支援ネットワークの周知徹底を

パンフレットや広報特集号を検討

谷藤利子議員(日本共産党)
このほど発表されたひきこもり支援に関するガイドラインの主旨を踏まえ、支援ネットワークの必要性等についての認識を問う。
また、本市の支援ネットワークの体制を当事者や家族にアピールし、市民の偏見を無くすためにも、更なる周知徹底は出来ないか。
答 支援を必要とする事例に対しては、保健、福祉、医療などの多面的アプローチが求められ、身近な地域での多機能による連携ネットワークが必須である。周知の徹底として、ホームページの改善や関係機関の協力を得てパンフレットを作成する他、広報特集号の実現に向け協議していく。

無 縁 死

福祉的就労

もつと市の業務を発注できないか
平成20年から増加してきている
石原美佐子議員(民主・市民)
リーマンショック以降の大不況により、障害者の仕事も激減している。市内で就労支援を行うNPOや福祉作業所のスタッフは、仕事を求め日々営業に努力しているが、大変厳しい状況である。単純作業や軽作業をしている人々に、市の業務をもつと発注できないか。
答 障害者施設等には20年以上前から公園の清掃や草刈り業務は発注していたが、平成20年の地方自治法施行令の一部改正等により、発注業務も増加してきている。22年度は障害者施設等で作成した手づくりせっけん等を、本市で開催される国体の参加選手や監督に記念品として配布する予定である。
め、市として全体の実数は把握できていない。
今後の対策としては、民生委員、社会福祉協議会、自治会などの地域社会、行政がそれぞれの役割を果たしながら連携・協力していく。
住み慣れた地域で孤立することなく、安心して生活が出来るよう支援していきたい。

本市での対策どうする
地域社会、行政が連携協力して支援
佐藤義一議員(民主・市民)
現代は無縁社会と言われる、人知れず亡くなる無縁死が増えてきており、悲惨である。終身雇用制度の崩壊、家族関係の希薄化など社会構造の変化が要因と考えられる。本市の現状と対策について問う。
答 警察では無縁死とされる件数を公表していない

交 通

羽田空港へのバス運行

運行開始時期等の検討状況は
京成バスから夏頃開始予定と聞く
五関 貞議員(自由クラブ)
現在、市内から羽田空港へのアクセスにはJRや京成線を利用するルートがあるが、多くの市民から不便であるとの声を聞く。市川駅南口の再開発事業に合わせた、JR市川駅南口から羽田空港へのバス運行の要望を以前から議会で質問してきた。運行ルートや運行開始時期の検討状況を問う。
答 現在、運行事業者である京成バス株式会社が、新路線開設の申請を国に提出している。羽田空港までは、JR市川駅南口から東西線妙典駅や行徳駅を経由して高速湾岸線に向かうルートを予定している。また、運行開始は夏頃を予定していると聞いている。

経 済

商店街活性化

商工業振興条例制定の考えは
年度内の策定を目指したい
稲葉健二議員(緑風会)
商店街の活性化に向け、商工業振興条例の制定と、その時期について、どのように考えているか。
また、街路灯等の共同事業補助金の今後の考え方として、設置経過年数の高い街路灯が増えているという現状に対応できるような配慮は出来ないか。
また、共同事業補助金における街路灯の電灯料、修繕撤去費用にかかわる要綱の見直しに加え、保険料も検討していきたい。

答 地域産業の振興は市政の重要な課題であり、地域経済の活性化に向けた条例の制定は必要であると考えていることから、年度内の策定を目指していきたい。

議 案 等 の 審 議 結 果 一 覧

	件 名	各 会 派 の 賛 否										審 議 結 果
		公明党	自由クラブ	日本共産党	緑風会	民主・市民連合	みらい・つばさ	市民の声	社民・市民ネット	道		
○市長提出												
議 案第1号	市川市市政戦略会議条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
2号	市川市税条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○		可 決
3号	市川市放課後保育クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
4号	市川市火災予防条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
5号	平成22年度市川市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
6号	都市計画道路3・4・18号(仮称)B1・B2橋(下部工その3)工事請負変更契約について	○	○	○	○	○	○	○	△	○		可 決
7号	市川都市計画道路3・4・18号浦安鎌ヶ谷線と京成本線(京成八幡～鬼越駅間)の立体交差事業 京成本線直下横断部築造工事施行協定について	○	○	○	○	○	○	○	△	○		可 決
8号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
9号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
10号	千葉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
11号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
報 告第1号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		承 認
2号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		承 認
3号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		承 認
○請願・陳情												
請願第22-1号	子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採 択
第22-2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」提出に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採 択
第22-3号	「国における平成23(2011)年度教育予算拡充に関する意見書」提出に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採 択
陳情第21-17号	くらしえる行政サービス・人員の拡充を求める意見書提出に関する陳情	×	△	○	×	△	×	×	△	○		不採択
第21-19号	市川市南部(行徳・南行徳・妙典)に総合病院の建設計画を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×		不採択
第21-23号	知的障害児の放課後の受け入れ先に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採 択
第22-1号	選択的夫婦別姓のための民法改正に反対する意見書を国に提出することを求める陳情	×	○	×	○	△	○	○	×	○		採 択
第22-2号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情	×	○	×	○	△	○	○	×	○		採 択
第22-5号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情	×	△	×	○	×	△	△	×	○		不採択
第22-6号	女性の健康に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採 択
第22-10号	市川市リハビリテーション病院の言うキーパーソンに関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×		不採択

	件 名	各 会 派 の 賛 否										審 議 結 果
		公明党	自由クラブ	日本共産党	緑風会	民主・市民連合	市民の声	みらい	社民・市民ネット	道	つばさ	
○市長提出												
議 案第12号	平成22年度市川市一般会計補正予算(第2号)	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	可 決
13号	損害賠償請求事件の和解について	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	可 決
○議員提出												
発 議第1号	子宮頸がん予防ワクチンを定期接種にするよう求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
2号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
3号	国における平成23(2011)年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
4号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出について	×	○	×	○	△	○	○	×	○	○	可 決
5号	コメの戸別所得補償対策等の見直しを求める意見書の提出について	○	○	○	○	△	○	○	○	×	○	可 決
6号	発達障がいや、その他文字を認識することに困難のある児童生徒のためのマルチメディアアイジー教科書の普及促進を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
7号	未就職新卒者の支援策実施を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
8号	機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
9号	小規模グループホームの防火体制強化を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
10号	保育制度改革に関する意見書の提出について	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	否 決
11号	法人税率引き下げと消費税増税に反対する意見書の提出について	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	否 決
12号	普天間基地の無条件全面返還を求める意見書の提出について	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	否 決
13号	後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める意見書の提出について	×	×	○	×	×	△	×	○	×	×	否 決
14号	「政治とカネ」の疑惑の徹底解明を求める意見書の提出について	○	△	○	○	×	○	×	○	○	○	可 決

※出席した会派の議員全員が賛成：○、出席した会派の議員全員が反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。
※6月21日付で会派の変更があり、「みらい・つばさ」が「みらい」と「つばさ」になったため、審議結果一覧が2つの表になりました。

請 願 ・ 陳 情

6月定例会には、新たに請願3件、陳情10件が提出され、閉会中継続審査事件となっていた案件と併せて所管の各委員会等で審査しました。
議会はのうち、請願3件と陳情4件を採択し、陳情4件を不採択としました。
(審議結果は左上表)

意 見 書

6月定例会には、意見書案14件が提出されました。
議会はこの意見書案のうち、10件を可決、4件を否決しました。
可決した意見書は、6月24日に関係行政庁へ送付しました。
(審議結果は左下表)

子宮頸がん予防ワクチンを定期接種にするよう求める意見書(要旨)

全国の女性の期待の声を受け、子宮頸がんワクチンが昨年10月に承認された。

日本では、毎年約15,000人が子宮頸がん罹患し、約3,500人が残念ながら亡くなっている。特に近年では、20代から30代女性が最もかかりやすいがんになっている。

子宮頸がんはヒトパピローマウィルス(HPV)によって起こる。ウィルスによって起こるがんなので、ワクチン接種で予防し、がんの発症を抑えることができる。

日本では現在、承認されたこの予防ワクチンは任意接種で、3回の接種に合計約5万円前後の費用が必要となることから、すべての女性がうける状況にない。ワクチンという予防措置で女性の命と健康が守られることは、医療コストの点からも効果は十分あると思う。

よって、国におかれては、女性の命と健康を守るために、子宮頸がん予防ワクチンを定期接種にするよう強く要望する。

○平成22年定例会開会予定日○

9月定例会	9月3日(金)
12月定例会	11月26日(金)

※定例会が開会される見通しの日程であり、事情により変更される場合があります。

○田中幸太郎	○つばさ勉	○かいづ道	○湯浅止子	○秋本のり子	○かつまた竜大	○社民・市民ネット	○金井清一郎	○岩井正郎	○みらい	○宮下かしづみ	○坂下伊長嶋	○鈴木啓一	○市民の声	○守屋貴子	○荒木詩郎	○並木美佐	○石原義一	○佐藤義一	○松井修	○松永健	○稲葉鉄	○松永内清	○竹内海	○緑風会	○谷藤利子	○桜井雅人	○二瓶忠良	○清水みな子	○金貞作	○日本共産党	○高井紘一	○五上義勝	○加関武勝	○中藤幸三	○増山紀郎	○自由クラブ	○笹浪妙子	○小戸節子	○戸村浩	○松葉雅浩	○堀越優	○大場諭	○宮本均	○大川正博	○公明党	(現員数41名)	会派別議員名簿
--------	-------	-------	-------	--------	---------	-----------	--------	-------	------	---------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	-------	------	------	-------	-------	-------	--------	------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	----------	---------

※○は会派代表者。(この会派別議員名簿は6月21日現在のものです。)